

め、階下で園児が遠慮なく騒ぐときしばしばこれを制しなければならぬ点です。ことに学期試験の一週間は、先生方が二階に邪魔にならないようにへん心をつかい、学生が試験がすんで「ホッ」とするのとどうように幼稚園の先生も「ホッ」とするのです。

もう十数年も昔のことです。戦争がはじまった昭和十八年に、東京から御殿場に疎開して幼稚園を開きました。村の子どももおりましたけれど大部分は都会から疎開した幼児たち六十名くらいでした。まったく戦時幼稚園で何の設備もなく疎開者から寄せられたシーソーが一台、杉の木に丸太をわたして作ったブランコ、これが遊具のすべてだったのです。しかし広い島にはおひもをつくり、とうもろこしをそだてて一しょに食べました。雨が降らないときはいつでも芝生で遊んだり、森を散歩して鳥の声をきいたり、山に登って草花を観察したり、坂をころころがったりして自然は充分に子どもを遊ばせてくれました。退屈することを知りませんでした。

都会の幼稚園へ帰ってきて感じることは、花壇が占める面積のせいまいこと、野菜園のないことです。現在は温室があつて結構です。子どもが自分自分で持ってきた草花を植えて楽しむ花壇も五坪ありますが、このほかに野菜島があつて、子どものきらいなにんじんも一しょに種子から栽培し、だんだん大きくなって子どもの手で「ギョウ」と引っぱって長い赤いにんじんがでてきたらどんなによろこぶでしょう。それを兎にも食べさせて子どもたちの給食のお皿にも調理してのせてやったら皆残さずいたくでしょう。

次に環境のことにふれます。園舎が建っている地域は、よくても通園してくる子どもたちひとりひとりが生活している家庭環境や社会環境はそのまま幼児の人格の深層に食い込んで全面的に影響いた

します。保育者は毎日幼児に接し、最も感化力の強い人的環境ですから、つねに好ましい状態におくことを努めるとともに、幼稚園外の指導を考え、幼稚園内の指導が徹底するよう家庭と社会の協力を強く求めます。母の講座は毎週金曜日に開き、講演会だけでなく、見学、懇談もいたして、幼稚園の正しいあり方をはっきり認識していただきます。子どもが幼稚園で歌っているうたは全部、お母さまも家庭で一しょに歌えるように練習し、楽譜も歌詩もプリントにしてお渡ししておきます。お母さんの教育とともに啓蒙しなければならぬのはおばあさんです。問題を持っている子どもの大部分は「おばあさんっ子」で自主性に欠けております。「小さいのに可哀想だ」と同情して、孫に手をかけ過ぎるのを母親は否定したいのですが、遠慮して言えない。言えば家庭に波乱がおきるので、姑の意のままにさせておく間に問題のある子どもになってしまいます。私どもは老人を尊びねぎらうと同時に、若々しい生命が、幼稚園でどんなにのびのびと、しかも自主的に活動して成長しているかを見ていたため、敬老会に園児の家庭の御老人をお招きしましたら、たいへんよろこばれました。たびたびこういう機会をつくって、幼児の発達と正しい扱い方を話しあいますなら、きっと協力していただけると思います。

(幼稚園主事・仙台)

玩具祭りの功罪

玉川喜代子

現在に直面している問題、計画と実践などについて私は第一に、本園における玩具祭りの功罪について申しあげてみたいと思います。

昭和八年十二月二十三日の暁、感激の「サイレン」によって皇太子殿下のお誕生を知ったとき、涙ぐみながら、奉祝の玩具祭りを続けようとした。それから、昭和九年十二月二十三日を第一回とし、戦争末期中絶、昭和二十二年再開して、本年にいたるまで、年々盛大になっていくわが玩具祭りは、公会堂に、二千人からのお客様をお迎えして、二つの公園と次々に三日間、公民館共催のため、おふれ、または回覧版で公示され、市の文化行事の一つとなりました。

とまれ園児はひとり残らず、劇、リズム遊びに参加して壇上に発表し、親子もろとも楽しい会食の後は、各組ごとに今度は親さん方の団体もしくは個人で、芸づくしの御披露がある。幼稚園行事のうち運動会其の他の映写を觀賞する。そして待望のかかえきれない土産を、爺婆にふんしたPTAの会長、副会長から手わたされ、高い壇上から二人ずつ母の招くところにおいていくという寸法である。この日の園児の喜びようは、入園前から楽しんで待っていることでもおわかりと存じます。

たびたびの反省会の結果会津の冬の寒さから園児の健康の面を考慮して、最近はゆかりの日である文化の日を中心に繰り返されました。

さらに、PTAのかたがたの真からの御協力ぶりは、毎年のことながら、涙ぐまれるばかりです。担当の園児のこと以外は、全部PTAの運営によってなされ、かつそのかたがたが、年中の最大の楽

しい日としてまっておられるということなのです。

そこで功罪について反省し、先生がたの御示教をいただきたいと思えます。

功

- 1、園児のひとりひとりがひじょうな自信をもつ
- 2、内向性の子どもが、元気になり発表力がつく
- 3、幼稚園に、はりきってよろこんで登園する
- 4、家庭との連絡がよくなる

5、公開するため、大衆に幼児教育がいちおう理解され、入園状況は即日しめ切りの状態

6、卒園しても保護者も学生も労務提供を申しでて、よろこんで参加してくれる

7、食堂その他の御協力で設備の改善備品の増加がめだつようになった

罪

- 1、あまりにも親心を發揮しすぎる場合もある
- 2、時間が長すぎて、園児の疲労度の点で反省を要する
- 3、内容の選択をあやまると困る
- 4、保育内容がかたよる場合がある
- 5、少し費用がかかる

(幼稚園長・会津)